

日本道德教育学会第 99 回（令和 4 年度春季）大会プログラム

日本道德教育学会会長 永田 繁雄

第 99 回大会運営委員長 走井 洋一

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学会第 99 回（2022（令和 4）年度春季）大会を東京家政大学で開催させていただき運びとなりました。ただ、新型コロナウイルス感染症がいまだなお終息を見通せないため、オンラインでの開催とさせていただくこととしました。オンラインではありますが、以下のテーマのもと、全国の皆様と熱く議論し合い、深く考え合う 1 日間にしたいと考えています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

■大会テーマ

道德教育を科学する

■大会テーマ設定の趣旨

道德は倫理学を中心に、いわゆる自然科学的な手法とは別様に、長い時間にわたって考えられてきました。そうした経緯もあり、本学会においては道德教育・道德授業の開発・研究は精力的に取り組まれてきたものの、その手法そのものが「科学的」であるかどうかについては必ずしも十分に検討されてきたわけではなかったといつてよいのではないのでしょうか。

しかし、教科として新たに組み直され、実施されはじめた道德科を実効性あるものとするためには、道德教育や道德授業を「科学的」に開発・研究することが求められているといえます。そこで、本大会では、道德教育・道德授業を開発・研究する科学的手法を確立する端緒とすべく、「道德教育を科学する」ことについて多方面から検討を行いたいと思います。

■大会の概要

- 開催日 2022（令和 4）年 6 月 26 日（日） ※1 日のみの開催です。
- 開催方法 東京家政大学を発信基地とし、Zoom によるオンライン開催
- 主 催 日本道德教育学会
- 後 援 文部科学省（申請中）、東京都教育委員会（申請中）、板橋区教育委員会、北区教育委員会（申請中）、全国小学校道德教育研究会、全日本中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
- 大会事務局 東京家政大学 教育学研究室 走井 洋一
173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 Tel/Fax 03-3961-4053
E-mail : jsme2022@gmail.com
※問い合わせは原則 E-Mail でお願いいたします。
- 参加費 会員・一般参加：3,000 円 学部学生・学卒院生：1,500 円

7. 参加申込 本大会のホームページ (<http://jsme2022.com>) の「参加申込」から peatix で申し込みください。申込方法の詳細は p.8 に記載しています。

申込期限（参加費納入期限）は 6月9日（木） になります。

8. 参加方法 6月初旬を目途に peatix の「イベント参加」からアクセス情報をお知らせします。また、入力いただいた E-Mail アドレス宛にもアクセス方法をお送りします。

■大会スケジュール

8:50～9:00	Zoom 入室	
9:00～9:10	開会行事	
	日本道徳教育学会会長あいさつ	永田繁雄（東京学芸大学）
	大会運営委員長あいさつ	走井洋一（東京家政大学）
9:10～10:00	基調提案	
	「科学教育からみた環境教育と道徳教育」	
		宮本康司（東京家政大学）
10:15～10:45	自由研究発表①	（各発表：発表 20 分，質疑 10 分）
10:50～11:20	自由研究発表②	（各発表：発表 20 分，質疑 10 分）
11:25～11:55	自由研究発表③	（各発表：発表 20 分，質疑 10 分）
11:55～12:45	休憩	
12:45～13:15	自由研究発表④	（各発表：発表 20 分，質疑 10 分）
13:20～13:50	自由研究発表⑤	（各発表：発表 20 分，質疑 10 分）
14:00～15:00	会員総会	
15:15～17:15	シンポジウム	
	「道徳教育を科学する」	
	司会：	荒木寿友（立命館大学）
	シンポジスト：	足立佳菜（佐賀大学）
		東風安生（横浜商科大学）
		萩野奈幹（兵庫県立教育研修所）
		古見豪基（埼玉県和光市立第五小学校）
17:15～17:25	閉会行事	
	次期大会運営委員長あいさつ	貝塚茂樹（武蔵野大学）
	日本道徳教育学会副会長あいさつ	柴原弘志（京都産業大学）
17:35～19:00	オンライン懇親会	

■自由研究発表（10:15～13:50、発表20分、質疑応答10分）

※発表者（連名発表の場合は全員）は発表時間に分科会のZoom会場にアクセスしてください。

第1分科会 司会：澤田浩一（國學院大学）

- 10:15～10:45 坂口幸恵（東京都江戸川区教育委員会学校教育支援センター）
「生命倫理」を主題名とした道徳科の事例研究～現代的な課題について考え、議論する～
- 10:50～11:20 坂本佳子（兵庫教育大学大学院研究生）
問題解決的な学習における探究課題の追究—p4cの手法を用いて—
- 11:25～11:55 町田晃大（東京都足立区立古千谷小学校）
哲学対話を取り入れた道徳授業—社会文化的アプローチの観点から—
- 12:45～13:15 瀬戸山千穂（群馬県前橋市立大胡中学校）
小中学校における自然愛護の系統性の分析と道徳の授業づくり～中学校の学習内容の分析を中心として～
- 13:20～13:50 星美由紀（福島県郡山市立郡山第三中学校）
哲学が道徳授業に提供する知見—読書会を通して—

第2分科会 司会：浅見哲也（国立教育政策研究所）

- 10:15～10:45 塩家崇生（兵庫県伊丹市立鴻池小学校）
道徳科における端末活用授業と非活用授業の比較研究から見えたこと
- 10:50～11:20 平真由子（金沢工業大学）
生徒が学ぶ意義を見出す授業作り～ノンフィクション教材とオンラインゲストの活用～
- 11:25～11:55 村上悦子（植草学園大学）
「Google Classroom」を活用した道徳授業のメリット
- 12:45～13:15 由良健一（兵庫県尼崎市立潮小学校）
子どもの「おたずね」を軸にした道徳科授業～ICTを利用した個別最適な学びと「おたずね」を軸にした協同的な学び～
- 13:20～13:50 安井政樹（札幌国際大学）
道徳科における評価と指導の一体化—評価業務支援システムの開発と運用—

第3分科会 司会：堺正之（九州女子大学）

- 10:15～10:45 志村幸紀（和歌山工業高等専門学校）
道徳的価値の科学的基礎づけの可能性と限界
- 10:50～11:20 高橋史朗（麗澤大学），早田保美（川崎市立久本小学校），山崎敏哉（東京都世田谷区立山崎小学校）
感知融合の道徳教育の理論と実践
- 11:25～11:55 森川敦子（比治山大学），鈴木由美子（広島大学），高橋均（広島大学）
児童の対人的適応感を高める道徳教育プログラムの検討—小学校5年生の夏休み明けの実践から—
- 12:45～13:15 石崎達也（東京福祉大学）
「他者への感受性」を育む「特別の教科 道徳」の理論的視座—「ヴァルネラヴィリティ」概念の再考—
- 13:20～13:50 上原智香子（東京しごとセンター（公益財団法人東京しごと財団））
環境感受性と道徳的思考態度の関係

第4分科会 司会：飯塚秀彦（国立教育政策研究所）

- 10:15～10:45 柳沼良太（岐阜大学）
道徳科教育学の構築に向けて—GIGA スクール構想における個別最適で協働的な学びの探究—
- 10:50～11:20 木原一彰（鳥取県鳥取市立大正小学校）
道徳科の学習において求められる知識に関する一考察～現代的諸課題を中心として～
- 11:25～11:55 中野真悟（愛知県刈谷市立朝日小学校）
柔軟なカリキュラム・マネジメントに関する一考察
- 12:45～13:15 増田千晴（愛知県犬山市立犬山中学校）
主体的・共感・協働のある道徳授業～ICTを組み込んで～
- 13:20～13:50 淀澤勝治（兵庫教育大学），門脇大輔（立正大学），三宅教博（兵庫県西宮市立段上小学校）
教員養成課程における道徳教育実践力向上方策の一提案

第5分科会 司会：鈴木明雄（麗澤大学）

- 10:15～10:45 松田憲子（神田外語大学），土田雄一（千葉大学）
多文化共生社会実現に向けた道徳授業の構築を目指してⅡ—韓国道徳教科書を基にした教材開発と実践
- 10:50～11:20 山田美香（名古屋市立大学）
台湾の全民国防教育と道徳教育-高校生は国防教育から何を学ぶのか
- 11:25～11:55 宇田川千帆（國學院大学大学院生）
公立学校における宗教的情操教育を科学的な視点からみる
- 12:45～13:15 辻和希（富山国際大学）
どのような道徳を科学的と見なしうるか
- 13:20～13:50 戸村拓麦（千葉大学教育学部附属小学校）
学校教育・教師・指導を批判する児童の権利を保障するものとしての道徳科授業構想

第6分科会 司会：吉本恒幸（聖徳大学）

- 10:15～10:45 間中崇史（埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園）
特別支援学校における感染症対策—新型コロナウイルス感染症対策をとおした道徳実践—
- 10:50～11:20 天野幸輔（名古屋学院大学）
病弱教育における道徳教育推進教師を中心とした道徳科の指導体制について—教室での授業への遠隔参加を想定して—
- 11:25～11:55 大藏純子（名古屋経営短期大学）
特別支援学級における道徳授業の実践
- 12:45～13:15 谷山優子（武庫川女子大学大学院生）
全校で取り組むユニバーサルデザインの道徳科の授業

第7分科会 司会：西野真由美（国立教育政策研究所）

- 10:15～10:45 上田博次（公益財団法人上廣倫理財団）
道徳教育における「内面化」と価値の「一般化」の関り―それぞれの問題点に着目した考察を通して―
- 10:50～11:20 高宮正貴（大阪体育大学）
内容項目「感動、畏敬の念」の研究―バークとカントをもとに
- 11:25～11:55 寺崎賢一（都留文科大学）
誤読されてきたカント道徳―笹澤豊著『自分の頭で考える倫理―カント・ヘーゲル・ニーチェ』を例に
- 12:45～13:15 田沼茂紀（國學院大學）
道徳科における協同的な学習の意義についての検討
- 13:20～13:50 尾崎恭一（放送大学埼玉学習センター）
自己自身に対する義務の基本性格について

第8分科会 司会：秋山博正（岡山理科大学）

- 10:15～10:45 毛月（広島大学大学院生）
自己抑制力を育成する「死の教育」学習プログラムの開発―小学校2年生を対象として―
- 10:50～11:20 那倉康知（兵庫県淡路市立津名中学校）
深い学びのための発問
- 11:25～11:55 長谷博文（北海道美幌町立美幌中学校）
道徳的価値を「自分事」として捉える授業に関する事例的研究
- 12:45～13:15 大塚正也（宇都宮大学共同教育学部附属中学校），渡邊明子（宇都宮大学共同教育学部附属小学校），青木淳（宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園），上原秀一（宇都宮大学），鈴木紀子（栃木県宇都宮市立陽光小学校），山田有希子（宇都宮大学），和井内良樹（宇都宮大学）
児童・生徒が問題意識をもってかかわり合う道徳科の授業
- 13:20～13:50 齋藤道子（武庫川女子大学大学院生）
道徳的価値の理解と自覚についての一考察

第9分科会 司会：白木みどり（金沢工業大学）

- 10:15～10:45 松下恭平（名古屋市立二城小学校）
小学生における外遊びと道徳性に関する一考察 その3
- 10:50～11:20 丸岡慎弥（立命館小学校）
カリキュラムマネジメントにおける道徳科の役割とは？
- 11:25～11:55 広中忠昭（麗澤大学）
豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性を養う道徳教育の構想～教員養成における総合的な学習の時間の指導法を通して～
- 12:45～13:15 橋本唯隆（教育ジャーナリスト）
虐待、DV、パワハラ等、社会問題の根源に全て道徳が絡む実態を、なぜ探求しないか―形骸化を放置する責任を問う

第 10 分科会 司会：植田和也（香川大学）

- 10:15～10:45 野本玲子（神戸医療未来大学）
情報モラル教育は、何を考えるのか
- 10:50～11:20 山本理恵（千葉県東金市立東中学校）
道德教育と生徒の変容
- 11:25～11:55 末永琢也（兵庫県三木市立広野小学校）
シビックプライドを醸成する道德教育のカリキュラムマネジメント—道德における郷土愛とは—
- 12:45～13:15 横山愛（目白大学）
保育士の道德観についての一考察
- 13:20～13:50 佐々木篤史（弘前大学教育学部附属中学校）
道德科授業における「批判的に考える」ことについての一考察～G・ベースタの教育学の視座から～

第 11 分科会 司会：島恒生（畿央大学）

- 10:15～10:45 坂井親治（愛媛県西条市立小松幼稚園），小島啓明（愛媛県鬼北町立広見中学校），石崎正人（愛媛県松山市立浮穴小学校）
幼・小・中学校園での授業実践から探る「主体的・対話的で深い学び」の要件—「うさぎの表情に着目した『はしのうえのおおかみ』」を多面的・多角的思考と発達段階を基に考える—
- 10:50～11:20 片山健治（岡山県立岡山大安寺中等教育学校）
問題解決型の道德授業を核とした教育実践における効果検証～6 年間の長期的スパンに亘る取り組みの省察～
- 11:25～11:55 松原弘（大阪府和泉市立郷荘中学校）
子どもが自ら道德的価値と向き合うために～「人間の魅力」から 郷土愛・愛国心を考える・「和太鼓調べ」「にっぽんのおかし」の実践～
- 12:45～13:15 佐藤郷美（東北福祉大学）
大学生の模擬授業・事後検討会を通した学びを探る～小学校 1 年「かぼちゃのつる」の実践から～
- 13:20～13:50 柴田克（清和大学短期大学部）
「SOS の出し方に関する教育」における道德的視点の重要性～JPOP「あかり/ワカバ」PV コメント分析から～

第 12 分科会 司会：板倉栄一郎（北陸大学）

- 10:15～10:45 柴田八重子（愛知淑徳大学（非））
「共同エージェンシー」発揮のある道德科授業・道德教育—価値観の創造に着目して—
- 10:50～11:20 猪岡養子（横手市立朝倉小学校）
エージェンシーを育む子どもとの関わり
- 11:25～11:55 浅部航太（北海道立教育研究所）
道德科の指導における教師のリフレクションの在り方
- 12:45～13:15 中野浩瑞（兵庫教育大学附属小学校）
子どもの学びが深まる道德授業に関する一考察～自分事として考える子どもの姿とは～
- 13:20～13:50 高口涼（静岡県富士市立広見小学校）
小学校低学年におけるエージェンシーと道德教育の実践検討—ジャスト・コミュニティを補助線に—

第 13 分科会 司会：吉田誠（山形大学）

- 10:15～10:45 山田貞二（岐阜聖徳学園大学）
道徳性曲線を活用した教材研究と授業づくり
- 10:50～11:20 河野辺貴則（四国大学）
人権課題「アイヌの人々」を題材とした道徳教材開発に関する基礎的研究—道徳科教科用図書の特徴と傾向—
- 11:25～11:55 植田清宏（大手前大学）
文学作品を中学・高校の道徳学習に活用するための一考察—村上敏治先生の理論を基にして—
- 12:45～13:15 佐々木哲哉（岩手大学）
中学校道徳科の「告白もの教材」に関する研究～『足袋の季節』『卒業文集最後の二行』等の教材としての本意を生かすために～
- 13:20～13:50 鈴木賢一（愛知県あま市立七宝小学校）
現代的な課題に向き合う道徳授業を創る～オンラインゲームを題材とした自作教材を生かして～

第 14 分科会 司会：林敦司（兵庫大学）

- 10:15～10:45 真壁佑輔（札幌市立上野幌中学校）
道徳科におけるローテーション授業の効果—生徒の振り返り用紙を手掛かりにして—
- 10:50～11:20 谷口雄一（摂南大学）
「主体的・対話的で深い学び」を体験することが教職志望学生にもたらすもの
- 11:25～11:55 清水顕人（香川大学）
子供の自己評価能力の育成を目指した道徳科授業の在り方について
- 12:45～13:15 門脇大輔（立正大学）
小学校「特別の教科 道徳」教科用図書における主題名の類型化の試み

■Zoom 使用上のお願い

- ・ オンライン学会では Zoom を利用します。参加される場合には、Zoom でアクセスできる環境を御準備ください。なお、大会事務局は Zoom アクセスについての技術的なサポートはいたしかねますので、各自での御準備をお願いいたします。
- ・ 主催者以外のレコーディングは理由の如何を問わず固くお断りします。
- ・ 自由研究発表では、ビデオとマイクは、発表者・司会者・会場係のみオンとします。他の参加者はビデオ、マイクともにオフにして参加ください。
- ・ 自由研究発表において質問等がある場合は「チャット」ないしは「リアクション」で司会者にお知らせください。基調提案、シンポジウムはウェビナーで行いますので、質問がある場合には「Q&A」を御利用ください。ただし、自由研究発表、基調提案、シンポジウムのいずれも時間の関係ですべての質問等を取り上げることができない場合もございます。

■オンライン懇親会について

- ・ 第 96 回大会からオンラインでの開催が続いている本学会の大会ですが、今大会では初めての試みとしてオンライン懇親会を実施する予定です。
- ・ 実施方法、参加方法の詳細については、参加申込いただいた E-Mail アドレス宛にお知らせいたします。
- ・ オンライン懇親会は参加費のなかに含まれていますので、お時間の許す限り御参加ください。
- ・ なにぶん初めての試みになりますので、不手際等があると思われます。あらかじめ御了承いただければ幸いです。

■申込方法・参加費納入方法、等

- ・ 本大会ホームページ (<http://jsme2022.com>) の「参加申込」を押していただくと、peatix のイベントサイト (<https://jsme2022.peatix.com>) に移動しますので、「チケットを申し込む」から参加費を納入ください。
- ・ 参加費の納入は、クレジットカード決済（オンライン決済、手数料無料）、コンビニ決済（220 円の手数料を御負担いただきます）、PayPal（銀行振込と表示されますが、PayPal 経由になりますので、PayPal のアカウントが必要です）が利用できます。
- ・ 申込締切は 6 月 9 日（木） になります（peatix の制約上 6 月 10 日午前 0 時を締切としていますが、6 月 9 日中に申し込みください。）。コンビニ決済の場合は前日までしか申込ができませんので、御注意ください。
- ・ 領収書は、発表要旨集とともに送付させていただきます。